

防虫科学

第 13 號

原 著

1. 樟腦-DDT-BHC 3 成分系及びその農薬に於ける應用について.....	小 野 正 夫	1
	故小・野 嘉 七	
2. はなひりのきの有効成分の研究 I	中 島 稔	11
	岩 佐 順 吉	
3. 1,2,3,4,5,6-Hexachlorocyclohexane の γ 異性体の定量に就て I	中 島 稔	14
	木 岡 茂 行	
	勝 村 安 行	
4. 芳香族ハロゲン化合物の化学構造と殺虫力に関する研究 IV	浜 田 昌 之	19
	大 野 稔	
5. BHCの合成に関する研究 II	大 岩 俊 彦	23
	山 田 良 一	
	荒 木 久 雄	
	大 野 稔	
6. アズキノウムシの寄主植物に関する研究 VI	石 井 象 二 郎	30
7. アズキノウムシの寄主植物に関する研究 VII	石 井 象 二 郎	32
8. 防疫除虫菊石油乳剤のアカイエカ幼虫に対する殺虫効果に就いて	長 沢 純 夫	37
綜 説		
9. 昆虫毒物学的に見た殺虫剤組合せの諸問題 I	酒 井 清 六	42
10. BHC文献の抄録 II	浜 田 昌 之	52
	山 本 有 彦	
抄録・雑録		54

財團法人防虫科学研究所

京 都 大 學 内

昭和 24 年 9 月

BOTYU-KAGAKU
"SCIENTIFIC INSECT CONTROL"
Bulletin of the Institute of Insect Control

Editor ; SANKICHI TAKEI

Associate Editor ; SYUNRO UTIDA

CONTENTS

Originals

1. Studies on the Components System (Camphor-DDT-BHC) and its Applications for Insecticides. Masao ONO & the late Kashichi ONO 1
2. Studies on the Active Principles of *Leucothoe grayana*. III. Minoru NAKAJIMA & Zyunkiti IWASA 11
3. The Quantitative Analysis of γ -Isomer of 1,2,3,4,5,6-Hexachlorocyclohexane by the Polarographic Method. III. Minoru NAKAJIMA, Sigeru KIOKA & Yasuyuki KATUMURA ... 14
4. Studies on the Correlation between Chemical Constitution and the Insecticidal Activity of Halogenated Aromatic Compound. IV. Masayuki HAMADA & Minoru OHNO 19
5. Studies on the Synthesis of BHC (benzene hexachloride). Toshihiko ORWA, Ryoichi YAMADA, Hisao ARAKI & Minoru OHNO 23
6. Studies on the Host-plants of the Cowpea Weevil (*Callosobruchus chinensis* L.). VI. Shoziro ISHII 30
7. Studies on the Host-plants of the Cowpea Weevil (*Callosobruchus chinensis* L.). VII. Shoziro ISHII 32
8. On the Lethal Effects of the Household Pyrethrum Emulsion to the Larva of the Common House Mosquito (*Culex pipiens* var. *pallens* COQUILLETT). Sumio NAGASAWA 37

Reviews

9. Problems of the Combinations of two or more Insecticides from the Standpoint of Insect Toxicology. I. Seiroku SAKAI 42
10. A Second Digest and List of Publications on Benzene Hexachloride. Masayuki HAMADA & Arihiko YAMAMOTO 52

Published by
THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL

Kyoto University
 Kyoto, Japan

既刊號(在庫)主要目次

第 2 號 (25円)
羊毛皮革の害虫防除法. コイガの生活史に就て

第 3 號 (25円)
ヒメマルカツラブシムシに就きて. ロテノン主成分とせる一防蝕剤の效果. 羊毛害虫の蝕害と温度との關係(第1報). ヒメマルカツラブシムシ成虫の集來する花に就きて

第 5 號 (25円).
貯藏米の害虫と其防除(一般的考察). 米穀の害虫防除に關する研究(第1報). 毛織物の害虫シモフリカツラブシムシに就きて. 毛織物主要害虫の蝕害と汚れとの關係(第1報)羊毛害虫の蝕害と温度との關係(第4報). フランスギク花に集來するヒメマルカツラブシムシ成虫とその捕殺の效果に關する考察(第2報)

第 6 號 (25円)
羊毛重要害虫ヒメマルカツラブシムシの天敵キアシアリガタハチに就きて. シミの蝕害とスフ, 和紙, モスリンとの關係. シミに對する柿澁の防虫効果に就て. 毛織物の害虫シモフリマルカツラブシムシ幼虫の脱皮回数に就きて

第7・8・9號 (100円)
殺虫剤の有効度とその表示法について. Benzophenon 混用蚊取線香に就て. ナフタレンとパラチクロールベンゼンとの毒性の比較. 和紙及びスフの重要害虫ヤマトシミの加害と温度との關係. 和紙及びスフの重要害虫ヤマトシミの加害と糊及び布海苔との關係. 珪藻土のアツキゾウムシに及ぼす影響特に湿度との關係に就て. 炭化珪素砥粒の粒度とコクゾウに對する殺虫効果との關係. 化學的に不活性な物質の殺虫効果. コクゾウの羽化に及ぼす米の含水量の影響

米の含水量が小蠹象の蕃殖に及ぼす影響
コクゾウ及びコクゾウの性比と環境
變量分析法の藥劑試験への應用
D.D.Tに關する海外新文獻集

第 10 號 (100円)
春川忠吉先生の還曆を祝して
春川忠吉先生御業績目錄
芳香族ハロゲン化合物の化學構造と殺虫作用に關する研究

第1報 DDT及びその近縁化合物に就て
第2報 BHO及びその近縁化合物に就て
第3報 Diphenylmethane 系化合物に就て
1,2,3,4,5,6-Hexachlorocyclohexane のγ異性体 (Gammexane) の定量に就て
1,2-dichloropropene, 2, 2-dichloropropane 並に其等の混合物の殺虫力に就て
水, 石油, およびピレトリンのハリプトシリアゲアリ職蟻にたいする致死作用の統計生理學的分析
虫齡の相違とピレトリンの毒性
殺虫劑の生物學的檢定方法

第 11 號 (60円)
1,2,3,4,5,6-Hexachlorocyclohexane のγ異性體の定量に就て(II)
Benzophenone の混用線香に就て(II)
BHO混用線香に就て
アカイエカ蝨に對するγ-BHO, 1068及びp,p'-DDTの毒性の比較
新殺虫劑BHO(benzene hexachloride)について

第 12 號 (60円)
BHOの合成に關する研究 I
馬酔木の殺虫成分に關する研究 I
防疫用殺虫劑のハイのウジにたいする効果試験
防疫用石油乳劑のアカイエカ蝨に對する殺虫効果に就て
二硫化炭素の致死下藥量に及ぼす影響
ギフシマトビケラの感光波長(豫報)
黒斑病甘藷の苦味質に關する研究 I

財団法人防虫科學研究所總則及役員

總 則

第1條 本法人ハ財団法人防虫科學研究所ト稱ス。
第2條 本法人ハ防虫科學ニ關スル研究ヲ獎勵シ其發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス。
第3條 本法人ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ
1 防虫科學ニ關スル研究者若ハ團體ニ對シ研究資金ノ交付
2 防虫科學ニ關スル研究及調査
3 防虫科學ニ關シ有要ナル發明ヲナシタル者ニ對シ發明獎勵金ノ交付
4 其ノ他第2ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業。
第4條 本法人ハ事務所ヲ京都市左京區吉田町京都大學内ニ置ク。

役 員

理事長	京都大學總長	烏 養 利 三 郎
理 事	京都大學化學研究所長	内 野 仙 治
理 事	京都大學教授	武 居 三 吉
理 事		小 林 政 治
理 事		中 山 福 藏
理 事		山 口 孫 一
監 事		横 山 俊 平
監 事		内 藤 敏 夫
主 事		横 田 實

昭和24年9月29日印刷 防 蟲 科 學 第13號 定價 30.00

昭和24年9月30日發行

主 幹 武 居 三 吉
京都市左京區北白川 京都大學農經部

編 者 内 田 俊 郎

京都市左京區北白川 京都大學農經部

發行所 財団法人 防 蟲 科 學 研 究 所
京都市左京區吉田町 京都大學内
(振替口座・京都 6899)

印刷者 伊 藤 兼 二
印刷所 中央印刷株式會社
長野縣岡谷市外三區

Laboratory facilities service

When you want to know your insecticides are effective or not, our laboratory facilities can be available for you at a normal fee.

KINDS OF TESTS OR ANALYSIS

1. Chemical analysis of PYRETHRUM.
2. Chemical analysis of DERRIS.
3. Chemical analysis of γ -BHC.
4. Biological assay for various insecticides using common fly (*Musca domestica* L.), rice weevil (*Carandra oryzae* L.), azuki bean weevil (*Callosobruchus chinensis* L.) and other insects.

THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL

Kyoto University
Kyoto, Japan.

今般當研究所除虫菊部會にて次の各項の御需めに應ずる事になりました。但し項目2・3・4に就ては其の都度豫め御相談下さい。

試 驗 項 目

1. 除虫菊及び製品の定量分析
2. デリスの定量分析
3. γ -BHCの定量分析
4. 各種殺虫劑の生物試験

(猶費用は實費前拂お願します)

財團法人 防虫科學研究所

除 蟲 菊 部 會

大阪府高槻市古曾部 京都大學化學部研究所内